



▲大晦日のドカ雪 (筆者撮影)

●福井宏一郎 (倉吉市)
コロナ禍の帰省

クリスマスイブに倉吉の実家に帰り、年末年始を2週間過ごしました。首都圏からの訪問者は鳥取県で歓迎されて...

初めて鹿野と吉岡まで足を延ばし、この6温泉で合計10回の午後を過ごしました。鹿野と吉岡は、賀露に買い出しに行つたのと組み合わせました。...

汗をかいて昼過ぎになると、今日はどの温泉に行こうか：勝手知つたる三朝・羽合・東郷・関金に加えて、今回は

この2週間の帰郷のちょうど真ん中あたり、暮れの30日午後2時から猛烈な吹雪になり、一晩明けの大晦日の朝は我が家で50cmの積雪でした。...

●山田雅行 (鳥取市)

八頭町を首都圏でPRするお手伝いをしています。2020年は首都圏で対面のイベントや交流会が開催でき...

●徳田 収 (倉吉市)

昨年は、台湾旅行ついでに、県人会の河崎妙子さんに台北の美味しいレストランを案内して頂く計画でしたが、コロナで飛行機が欠航で中止。...

●檀原 雅 (智頭町)

新市区西早稲田にある穴八幡宮にお参りしてきました。この神社は江戸時代から金運アップ、商売繁盛にご利益があると言われていす。...

●片山 竜 (岩美町)

昨年、県人会に入会させていただきました。現在、在宅勤務が継続しており、すっかりリモートワークが板についてきました。...

●平石政伯 (智頭町)

昨年はコロナ禍の中、思考も行動も委縮してしまいがちな一年でした。こういう時こそ、時間を確保して、新しいことに挑戦しよう。...

●武田博史 (岩美町)

昨年は県人会の行事も中止が相次ぎましたが、私が幹事を務めている「東因会」も同様でした。...

●市川祐一郎 (倉吉市)

コロナ禍の影響で、週2、3日だった出勤日もテレワークとなり、体も頭もなまりがちでしたが、身体的かつ知的健康状態を保つようにと家内からオカリナを習わないかと誘われ、始めてみました。...

●長尾克己 (鳥取市)

昨年は想定外の新型コロナウィルスで思うように身動きのとれない、知恵比べのような一年でした。...

●勝部日出男 (米子市)

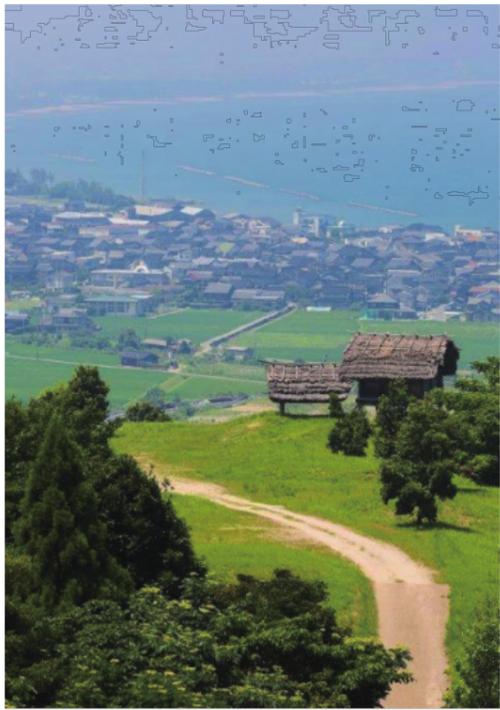
昨年春からのコロナ報道に振り回される一年でしたが、享年106歳にて天寿を全うした母のために二度帰郷し、ZOOMリモート通夜祭、告別祭などの祭事を催すことができました。...

佳境に入りつつあるところですが、家族間の会話が多いことと、少し緊張もほぐれているように思います。一度発熱外来を受診し、PCRを受検しましたが、無事陰性でした。...

いかならないものの、心の安住の場所として、先達の志を繋いでいきたいと思っています。今年の東因会は10月9日に予定しています。...

12月にはコロナ感染者急増により、例年多くの方を招いて催すクリスマス会も新年会も家族中心となりましたが、家族の健康と絆の大切さを一層感じる新年となりました。...

もちろん、3密回避、マスク着用、うがい・手洗いの励行等も重要ですが、予防医学的実践は、コロナ対処にとどまらず、幸せ健康長寿の秘訣でもあると、私の主宰する幸せ工学研究会では共通認識としていきます。是非ご実践あれ。(副会長)



▲妻木晩田遺跡から弓浜半島を望む ©鳥取県

『淀江ロマン遺跡回廊』の推進を！

『淀江ロマン遺跡回廊』推進会議共同代表
東京淀江会長 勝部日出男

●倉都康行(倉吉市)
コロナからは誰も守ってくれないとの認識で自己防衛に努めつつ、体力・免疫力向上のために毎朝4時半に起きて2・5キロを走り、週に2回はプールで1キロを泳ぎながら、土日返上で毎日仕事に励んでいます。

●永美和憲(岩美町)
コロナで少し減入っていますが、楽しみも見つけながら頑張り抜きたいと思っています。コロナ後の楽しい事をいっぱい考えながら毎日頑張りましょう。

一昨年病気(悪性リンパ腫)にかかってから、毎日体温、酸素指数、血圧そして体重と測定を日課にしています。テレビ体操は腰を痛めてからやめていましたが、今日久しぶりにやったら身体が動きません。短時間でも毎日やるのが大切と思ひ知りました。

●坂出宜隆(三朝町)
例年1回は発熱していましたが、この冬はコロナのおかげか(?)。現在までは発熱無し。コロナが一段落するまで、なんとか頑張れたらと思っています。

●古川満久(江府町)
昨今の状況下、仕事では在宅勤務を継続、プライベートの外出も最低限にとどめておきます。一昨年以来の帰省も、早く実現したいところです。私、仕事で20代30代の社員とPCやスマホ経由で仕事の現状を聞く機会があるので、さぞや不便などを感じているのだろうと想像しながら聞いてみますと、思いの外「全く不便を感じない」とか「むしろ通勤なくなつてありがたい」。いやいや寂しがる、などと聞こうものなら「全然平気です」などと返されたりもします。なるほどポストコロナでもオンラインで「全然平

水と緑と史跡の町を標榜してきた故郷淀江町(現米子市淀江町)は、清く豊かな水源と数々の貴重な古墳・遺跡・史跡がギャラリーのように連なる町です。

昨年秋、県が推進しようとする産業廃棄物処分場建設計画地内で百塚前方後円墳も発見されました。計画地周辺には環境省指定名水百選の天の真名井や三輪山の清水、壺瓶山地下に眠る莫大な水源などもあります。

古代の淀江は、天然の良港で、朝鮮半島等との日本海交流・交易の拠点でした。取り囲む山側は天然の湧水に恵

まれ、大山を背に美保湾や弓ヶ浜半島、松江半島などを見下ろす雄大な景観とともに稲作、交易等を営む人々の経済・生活の地として優れた地勢であったと推定されます。

それを示す古墳・遺跡群として、本邦最大弥生遺跡の妻木晩田遺跡、横穴式石室のある岩屋古墳、本州唯一の石馬を出土した石馬谷古墳、向山古墳群、法隆寺と並んで日本最古の寺院壁画を持ち3つの塔が並ぶ伽藍配置の上淀廃寺跡、人を乗せた船や望楼高殿を描いた絵画土器を出土した稲吉角田古墳群、壺瓶山古墳群等々が淀江平野を囲む回廊のように連なっています。

4つの国史跡やこれほど多くの古墳・遺跡が密集する町は全国でも稀有でしょう。

連なる古墳・遺跡群と景観豊かな水源に加え、古代から歴史ロマンをまとった『淀江ロマン遺跡回廊』構想を、東京淀江会及び所縁ある有志で提起し、自治体の協力を得て地元の人々ともども推進しようとして動き始めました。鳥取県の歴史・文化・経済遺産・宝物として発展させ、世界に発信してゆきたいものです。どうぞ、ご支援・ご協力・ご参加を！

●交流部会 ●
因伯オープンゴルフへのお誘い

コロナ禍は、精神的にも肉体的にも悪影響を及ぼします。こんなときにこそ、身体を動かして免疫力を高めましょう。

令和3年度、第49回因伯オープン(5月21日金曜日)を予定しています。ゴルフで体力向上を図り、コロナをぶっ飛ばしましょう。

(交流部会常任幹事 徳田 収)

●編集後記 ●
▼コロナ禍での自粛続きで、今年もどうなるか覚悟を決めていたが、この度、会員皆さま方からの前向きで明るく、力強いお便りを拝読し、心を熱くし、元気を貰いました。厚く御礼申し上げます。

▼今回は、広報部会の三角さんの「尽力に負うところ大でした。勝手にやり過ぎたかしら」と仰る三角さんに、「いえ、安心してお任せ出来ましたよ」と倍旧の感謝です。▼県人会の歴史に残る稀有な「梨花」特集号となりました。素敵な写真を提供して下さいました。鳥取県広報連絡協議会にも、有り難うございました。(遠藤隆司)

「気」な年代が仕事の流儀を作っていくのだろうと期待しつつも、リアルなつながりの大事さ忘れられず、ついつい説教口調になってしまっています。

●古川満久(江府町)
新型コロナウイルスのさらなる感染拡大。新たな生活様式であるテレワーク等々の推進はもとより、3密を避けるための様々な行動自粛等が求められています。

しかしながら、こうした時期だからこそ、考えなければならぬことは、人と人が互いに認め合い、支え合い、助け合うこと。そして、思いやりと温かい心の「つながり」「結びつき」を強く心に刻むときではないでしょうか。

私たちはこのことを、決して忘れてはならないと思ひます。

1964年の東京オリンピック開催時に、川に蓋がかぶせられて下水道として転用され、暗渠と呼ばれる状態になっていたので、道と区別がつかないからだ。

現在、川の流れが眺められるのは、渋谷駅東口の渋谷ストリーム前の稲荷橋から下流の部分である。5年前、東急

東横線の地下化に伴う再開発により、広場と壁泉が生まれ、代官山に至る遊歩道が整備されている。露店や展示イベントが開催されることも多く、ゆいちゃんず(樺坂46)が歌う「渋谷川」の舞台というこどもあつて、若者が多く散策している。

川は流れていなくても、くねくねした川跡を感じさせる道筋を築きあげるのが、表参道のキヤットストリート。葛飾北斎「富岳三十六景」に描かれた「隠田の水車」のあった場所でもあり、橋の欄干がどこに残っているのを探しながら散策することが出来る。

歌の舞台となった代々木の地、代々木公園駅近くの「はるのおがわプレーパーク」の

横には歌碑があり、水源となった山内侯爵邸内の池の跡から渋谷センター街にかけて36本の電柱にNPO法人渋谷川ルネッサンスが設置した「春の小川」と書かれた広告が道案内をしてくれる。

2040年に、水源だった玉川上水を東京都が復活させるのに合わせて、渋谷川が復活する可能性が高まっております。川の上を歩く「暗渠めぐり」ができるのも今のうちかも……。

事前に神社などを調べて立ち寄りながら歩くもよし、新しい店や施設を歩きながら発見するのもよし、コロナ禍の中でも「密」を避けやすい外出として、遙かな川の流れる風景に思いをはせ、渋谷川ウォーキングをしてみたいか？

(NPO法人渋谷川ルネッサンス事務局長兼代表代行)

春の小川―渋谷川散策

石井 健蔵(倉吉市)



◀「春の小川」の電柱広告

▲「春の小川」の歌碑

◀ 稲荷橋付近の渋谷川